

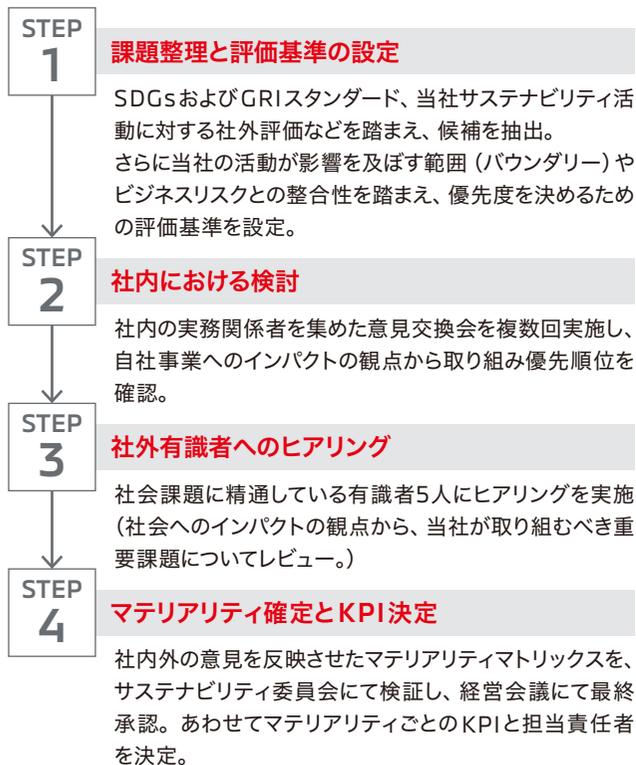
## 三菱自動車のマテリアリティ

### マテリアリティ(重要課題)の特定

三菱自動車は、国連持続可能な開発目標 (SDGs) の重要性を認識し、2018年度に環境・社会・ガバナンス各分野の様々な課題から当社が取り組むべき重要課題として15のマテリアリティを特定しました。

特定に際してはステークホルダーの関心度と自社への影響度の観点から検討を重ね、有識者へのヒアリングを実施しました。そのうえで、サステナビリティ委員会にて議論を重ね、経営会議にて決定しました。

### 特定のプロセス



### 特定されたマテリアリティ

当社は2018年度に環境・社会・ガバナンスの各分野において取り組むべき15のマテリアリティを特定しました。2020年度は、環境問題の深刻化や新型コロナウイルス感染拡大による社会情勢の変化への対応を踏まえ、マテリアリティの見直しを進めています。



※ **E**: 環境 (Environment) **S**: 社会 (Social) **G**: ガバナンス (Governance)

## 特に重要度の高いマテリアリティにおけるリスクと機会

三菱自動車は、マテリアリティの特定に際し、認識する社会的問題を「リスク」、リスクを踏まえて当社が取り組むべき課題を「機会」と整理しました。

マテリアリティ	リスク	機会	SDGsへの貢献
気候変動・エネルギー問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対応への企業責任の増大</li> <li>消費者の環境製品購買への志向拡大</li> <li>人命・経済に甚大な影響を与える世界的な気象災害の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量を低減した商品のラインアップ強化による販売拡大</li> <li>再生可能エネルギーの積極的導入など、調達～生産～販売に亘るCO<sub>2</sub>排出量低減による環境貢献</li> <li>気象災害時の電力供給などに貢献できる電動車の販売拡大</li> </ul>	 
道路交通事故の削減に寄与する製品の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢ドライバーによる道路交通事故の社会問題化</li> <li>新興国の自動車保有急増による死亡事故の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防安全技術の開発・普及による販売拡大</li> <li>衝突安全(ドライバー/同乗者・被害者)性能による競争力の強化</li> </ul>	
製品品質、セールス・サービス品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な製品購買への消費者志向の拡大</li> <li>自動車ライフサイクルを通じての顧客ニーズの多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高品質な製品の提供による顧客満足度の向上</li> <li>不具合発生時の迅速な対応による信頼の獲得</li> <li>販売店スタッフの顧客対応力強化によるロイヤリティの向上</li> </ul>	
事業を通じた地球経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進国企業の新興国への進出による企業間競争の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセアン地域における事業強化による地域社会の繁栄</li> <li>アセアン地域のステークホルダーからの信頼向上への取り組みによる事業機会の拡大</li> </ul>	  
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>過重労働による心身の病の社会問題化</li> <li>少子高齢化による労働人口の減少と困難になる優秀な人材の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働環境の革新による労働生産性の向上と総労働時間の短縮</li> <li>育児、介護、通院などを理由とする離職率の減少</li> <li>多様な働き方の提供による優秀な人材の確保</li> </ul>	  
コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の不正行為の社会問題化</li> <li>サイバー攻撃などの情報漏洩事故の増大、深刻化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>強固なガバナンス体制の確立による健全かつ透明性の確保</li> <li>コンプライアンス体制・社員教育強化による社会からの信頼の獲得</li> <li>リスクマネジメント強化による事業安全性の確保</li> </ul>	 